

# まちの話題

## 地域とともに歩んで61年 県立八鹿高等学校大屋校閉校記念式典

2月27日、県立八鹿高等学校大屋校（川上教朗校長）で、最後の卒業式と閉校記念式典が開催されました。  
閉校記念式典には新卒業生15名をはじめ約200名の関係者が参加し、地域とともに歩んできた同校の閉校を惜しみました。  
まず川上校長が学校を支えた地域の方々の熱意を讃える式辞を読み上げ、県教育委員会から溝口繁美教育次長が大屋校の発展のために尽力された方々への感謝を表すあいさつを述べられました。

さらに、藤田孝夫県議会議員、広瀬市長による来賓挨拶、大屋分校同窓会長の挨拶の後、新卒業生が同校の沿革を紹介するプレゼンテーションが行われ、最後は、県立八鹿高等学校校歌、大屋分校歌を出席者全員で斉唱し、式典が締めくくられました。

## 卓球大会で熱戦を繰り広げる

2月14日、冬場の体力づくりと交流を目的とした第4回養父市小学生卓球大会が養父体育館で開催され、92人が出場しました。  
同大会は学年別、男女別に分かれ、予選リーグと決勝トーナメントで順位を競うもので、養父中学校卓球部、養父市卓球協会、養父市体育指導委員の皆さんの協力をいただき実施しました。



選手たちを繰り広げる熱戦

各選手は、応援にかけつけた保護者の声援を受けながら、日ごろの練習の成果を発揮して熱戦を繰り広げました。  
大会結果は次のとおりです。  
（各1位のみ掲載、敬称略）  
6年男子／田村拳也（浅野小）  
6年女子／前田彩花（八鹿小）  
5年男子／橋本和真（浅野小）  
5年女子／小西萌子（広谷小）  
4年男子／小井塚誠人（小佐小）  
4年女子／藤原彩（伊佐小）



県立八鹿高校大屋校閉校式典

## 上垣美由紀さんが「兵庫県知事賞」を受賞



受賞した上垣美由紀さん

県内で農産物の生産、加工などに先導的な役割を果たした活動を評価する「平成21年度ひょうごの農とくらし研究活動コンクール」で上垣美由紀さん（大屋町蔵垣）が兵庫県知事賞を受賞されました。

上垣さんは、ご主人の康成さんと「わはは牧場」で繁殖和牛や、アイガモ農法の米作り、アイガモの処理場の経営などを行うとともに「七つぶの種」の代表も務められています。

受賞の感想を「これまで取り組んできたことが評価され大変うれしです。人間は生き物の命をいただいて生きているということを子どもたちに伝えられるようがんばりたい。」と話されました。



自作ロボットを配置して競技開始を待つ選手

## 自作ロボットの動きに「喜」憂

3月7日、子ども達が作った自立型ロボットによるサッカー競技「ロボカップジュニア2010北近畿ノード大会IN養父市」が養父体育館で行われ、市内外から16チーム30人が出場しました。

同大会は、子ども達にもものづくりの喜びと科学技術への興味を持つてもらつたことを目的に行われているものです。

公民館講座などでロボットの制作方法やプログラミングを学んできた子ども達は、自作ロボットの動きに「喜」憂しながら対戦を見守りました。

熱戦の結果、植田祐未さん（八鹿小）と玉島野乃夏さん（豊岡市五荘小）のチーム「トリック」が3位に入賞しました。

## 知事が地域づくりグループと意見交換

参画と協働の県政を進めるため、井戸敏三県知事が、地域づくり活動を行っているグループと意見交換を行う「但馬さわやかトーク」が2月21日、大屋町大杉の分散ギャラリー「いろり」で囲炉裏を囲んで行われました。

この日は、同町で活動されている芸術家と、「鉱石の道」明延実行委員会のメンバーなど10人が参加し、井戸知事や藤田県議、県民局長、広瀬市長らに自己紹介を兼ねて活動の内容や、今後の夢などを話しました。意見交換が終わったあと、知事らと参加者は、木彫展示館などの見学を行い、和やかな雰囲気ですべて終了しました。



井戸知事らと意見交換を行う参加者

## 保育所に通う保護者の皆さんへ 「多子世帯負担軽減事業」のお知らせ

子育て家庭の経済的負担を軽減し、子どもを生き育てやすい環境づくりを推進するため、保育所に在籍しているお子さんのいる多子世帯に対し、保育料の一部を助成することになりました。

### ■対象世帯

18歳未満(平成21年4月1日現在)のお子さんが3人以上の世帯で、3人目以降のお子さんが保育所に通っている世帯

### ■所得制限

世帯の所得税額が40,000円未満の世帯(保育料徴収基準額第4階層以下の世帯)で、3歳未満児で月額27,000円以下、3歳以上児で月額24,500円以下の保育料の世帯

### ■助成金額

月額6,000円を超える保育料に対して…  
(1)3歳未満児では月額4,500円を限度  
(2)3歳以上児では月額3,000円を限度

### ■申請

該当する世帯には保育所を通じて申請書をお届けします。

3月中に申請書が届かないときは、市役所福祉課へお問い合わせください。

【お問い合わせ】市役所福祉課 ☎662-3162